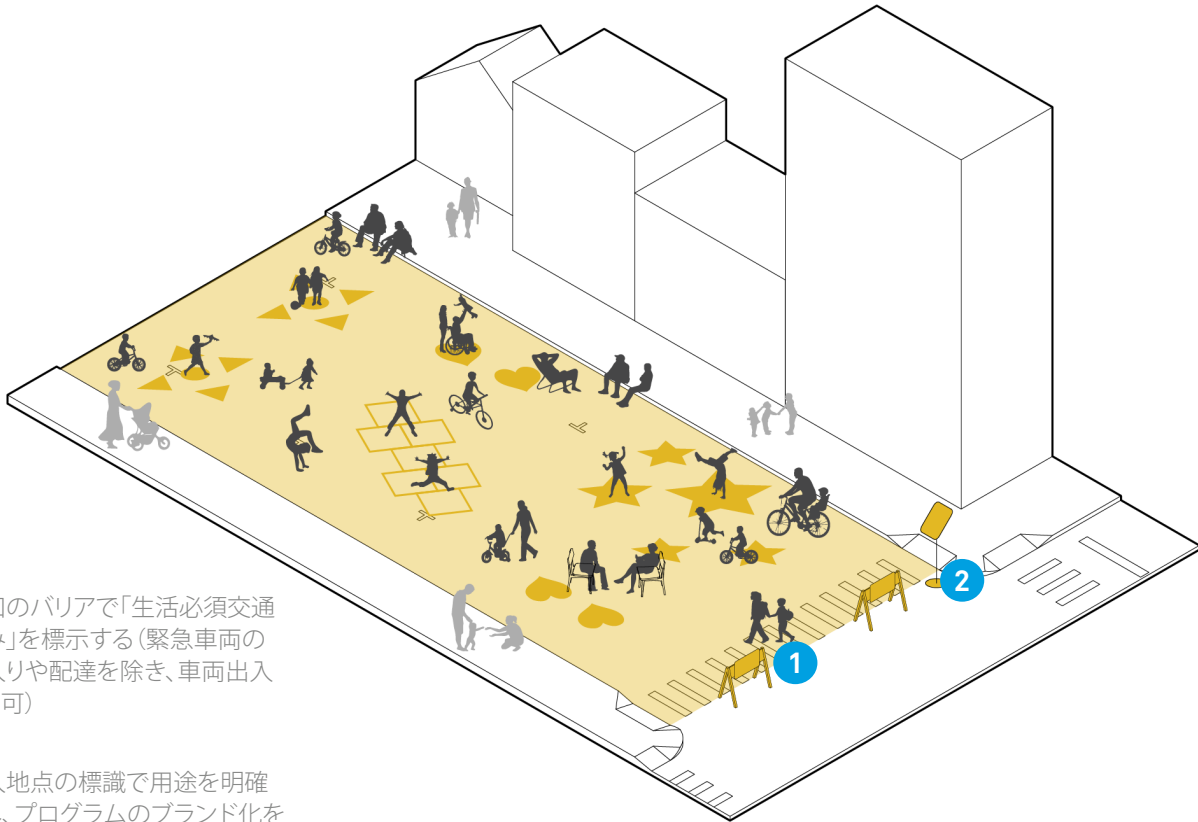




1 入口のバリアで「生活必須交通のみ」を標示する(緊急車両の出入りや配達を除き、車両出入り不可)

2 進入地点の標識で用途を明確にし、プログラムのブランド化を図るとともに、交通規制や車両運転手を誘導する

身体活動、遊び、距離を保って行う社会的活動などのための安全な空間を設けます。

即地的状況

- 交差点の少ない公園沿いの通りや水際の通り。
- 交通量の少ない住宅街の街路。
- 地元の飲食店/小売店が集積し、公共交通がない商店街。

鍵となる手段

- 交差点に仮設の交通バリアと「緊急車両/配達専用」標識を設置する。
- バリケードを設置すべき生活道路への進入地点を格子状に確立する。

実施計画: 1週間。

期間: 時間帯、曜日、週末、または開催中(数週間、数ヶ月間)。



出典: ブライアン・トーマス/ゲッティイメージズ

米国・ニューヨーク州・ブルックリン

ブルックリンやニューヨーク市の他地区にあるオープンストリートは、歩行者が集まり活発に過ごせる空間を提供している。

計画

- ・ 特定の時間帯や曜日、または恒久的に車両の通行を禁止できる単一の通りまたは街路網を特定する。
- ・ 低速共存道路とは異なり、実施期間中の路上駐車は禁止される必要がある。
- ・ 提案されている近隣緑道、自転車の並木道、または実施が計画されている経路を検討する。完全な閉鎖が困難な場合は、代替案として低速共存道路を検討する。
- ・ 資材に制約がある場合は、道路閉鎖または不十分な遊び場や校庭に隣接する1～2街区の遊戯道路を優先する。
- ・ プログラムと活動が安全な対人距離を確保できるよう支援していることを確認する。

連携

- ・ 自治会、事業地区、地域団体、自転車・徒歩・健康連合、学校、共済団体などに連絡する。
- ・ 利害関係者や支援団体と協力してチラシを配り、地元住民と安全に連絡を取る。
- ・ コミュニティ団体と連携して、障害や設計や長さに影響を与える課題を特定する。

設計 + 実装

- ・ 通過動線を完全に禁止するための通りを特定し、曜日や日中内の時間帯を指定する。
- ・ 部分的閉鎖は、地区内アクセスを維持しつつ、ほとんどの通過動線を防止できる。
- ・ 生活必須サービス（医療、食料品店、薬局、公共交通）まで人々を安全に移動させるために、通り規模で歩行者天国/遊戯道路を検討する。
- ・ 必要に応じてバリケードやA-フレームに取り付けることができる、仮設の「道路閉鎖」標識を用いる。歩行者や自転車に対する警告標識の追加は任意である。

モニタリング

- ・ 重要な基準：特定の時間帯の需要の総数と割合の変化。
- ・ 実用的であれば、カメラやチューブカウンターなどの自動装置を用いて、自転車の台数や短時間（15分～1時間）の歩行者、利用者のタイプ別カウントのサンプル（低年齢層の子供や高齢者など）を収集する。
- ・ 必要に応じて、カウントや調査を用いて調整する。



出典：ナタリア・ボムテンポ

ブラジル・ブラジリア

ブラジリアは日曜日に歩行者や自転車のために街路を開放する。



出典：DPA

ドイツ・ベルリン

ベルリンでは、遊戯や人が集まる空間を設けるために、いくつかの街路で車両規制している。